

- 久間防衛大臣の問題発言について
- 久間防衛大臣を罷免しなかった理由
- 「消えた年金」問題で初めて報告を受けたのは
- 事の重大性を認識したのは、いつ、誰の報告によるか。
- なぜ、今年1月から5月までの審議で、総理は危機感がなかったのか。重大性を知らなかったのか、知っていて危機感の無い答弁をされたのか。
- 総理に不作為の責任はないのか。長妻発言は不安をあおるとの内容の国会答弁の真意を問う。
- 紙台帳とコンピューターデータを照合し、データを訂正する。この作業を1年で終了させるには、人・モノ・カネがどれだけかかるか。
- 今月からすべての被保険者・受給者に納付記録一覧を緊急送付すべきと考えるがいかがか。
- 「年金記録問題検証委員会」「年金記録確認第三者委員会」について非公開となった。これはおかしい。公開すべきであり、総理のリーダーシップを発揮してほしい。
- 公務員制度改革において、政府はいわゆる「天下りバンク」を設置する。なぜ、普通のハローワークや就職情報誌で職を探さないのか。渡辺行革大臣は、内閣委員会で、ハローワークより人材バンクの方が仕事が見つかりやすい旨の答弁をした。官尊民卑の発想ではないのか。むしろ、今こそ、ハローワーク改革をすべきではないか。

(以上すべて総理大臣)